

第94号

2月

あいしま号

〒246-0022

横浜市瀬谷区三ツ境

73-7

株式会社アイシマ

TEL045-360-6021

今月は
グループホームれんげ
中島ホーム長

からのお話です。

グループホームれんげの管理者をしております、中島卓弥と申します。平成27年12月から管理者に就任いたしました。（まだ3ヶ月目の新人管理者です・・・）とは言っても、以前にもれんげでお世話になっていたことがあります。ご縁を頂き、この度、管理者として復活させていただきます。



当時から知る入居者様やスタッフと久しぶりに顔を合わせ、めぐり

合わせの不思議を実感するとともに、認知症という病気と向き合うことの大変さ、介護がいかにかに難しい仕事であるかということも痛感しております。スタッフとともに日々奮闘中です・・・。



さて、人手不足が蔓延している介護業界にあつて、グループホームも例に漏れず、どこの会社でも苦労していると耳にします。

れんげでは今年目標に、“職員間の連携を強化する”という項目を挙げました。ここでいう“連携”には、スタッフ間の会話、コミュニケーションという意味合いも持たせています。

どんな仕事でもそうですが、人間関係はとても大切です。元気がないスタッフがいた時、色々と原因はあるかと思いますが、“コミュニケーション不足”も要因のひとつではないかと考えました。しっかり関係が築けない場合、その人に対して先入観をもって接していたり、色々と“誤解”している部分があるからではないかと考えてみるようにしています。話してみないとわからないことは沢山あります。会話の機会を多く持ち、仕事に対する悩みや不安を分かち合おう。また、相談できる関係性を持つこと。管理者や主任からも積極的に会話を持つことで、スタッフのニーズを把握していくなど、スタッフが長く仕事を続けていけるよう、目標を設定しました。

（と、スタッフ目線で考えていたら「これは入居者様にも言えることだなあ・・・」ということに気がきました。考えることって大事ですね）



スタッフが代わることは、入居者様にも少なからず影響を与える可能性があります。入居者様もスタッフも、お互いが笑い合い、楽しく過ごしていけるよう、日々取り組んでいきたいと思えます。

まだまだ革命のれんげではありませんが、今後とも宜しくお願い申し上げます。



スカイステーション 握り寿司ランチ会



今年一番の寒さで氷点下を記録した1月25日(月)、晴天に恵まれた日に、大和市中に位置するサービスタワー高層者向け住宅(サ高住)スカイステーションにて寿司職人による、握の実演と握り寿司が楽しめるランチ会が行われました！

ランチ会には近くにあるアイシマの施設やサ高住の入居者様がお越しになり、大人数で賑わいました。



このスカイステーション

の5階からは富士山がくっきり！

見事な景色に皆様大興奮で富士山をバックに写真撮影をしました。天気も良く、雪化粧の素敵富士と共に美味しい握り寿司を頂きました♪



→こちらは一人前のお寿司です。食べているとおかわりのお寿司が次々と運ばれて

きます。

初めは「一人前ちょっと少ないな」と呟いていた利用者様も次から次へと運ばれてくるお寿司に「お腹いっぱい！で夕飯が食べられない！」と喜ばれていました。



生はもちろん、炙りもありとても豪華！
寿司のネタはまぐろやエビの他、ホタテ、カンパチ、えんがわなど。



目の前で炙ってくださった

のですが、これがまた香ばしくて食欲をそそる良い香りがするんです♪食べながら「すごい！次は何が出てくるのだろう」ととても楽しまれています。



そしてお寿司もお腹いっぱい食べ終わり、一息ついていると締めデザートのあるみつが！食べられるかなという心配をよそに「お腹いっぱいでもデザートは別腹よね♪」という声が聞かれ、ほっこりした気分になりました。



編集後記

暖冬といわれている今年ですが、1月に入り寒い日が続いています。しかし、その寒さのおかげで、やっとスキー場に雪が！「いっしょに行こうっ」と、子供に言われる毎日。早く計画しなくては・・・

(か)



冒頭でお伝えしたように、スカイステーションの5階からは富士山が見える他、千本桜で有名な花の寺・常泉寺が近くにあり、春が待ち遠しいですね♪
1階には喫茶シエモアがあり、ちょっと一息つくことも出来ます。お花見の帰り道に是非一度お立ち寄りください。